



ALWAYS IN ADVANCE OF TIMES,  
DAIDO CORPORATION HAS  
STEADILY GROWN BY PROVIDING  
SUPERIOR PRODUCTS AND SERVICE.

柔らかさの中に強靱な  
剛性を合わせ持つ

厚膜2液型硬質ウレタン樹脂系塗床材

エカ7リート **RIZE**  
ライズ

F☆☆☆☆ 認定品

非TX

非鉛・クロム

文科省指定6非含有

厚労省指定13非含有

# 耐衝撃性に極めて優れた 環境に優しい 高硬度ウレタン厚膜塗床材 “ユカクリート RIZE”



ユカクリートRIZE(ライズ)は  
エポキシ樹脂に近似する硬度を持ちながら  
伸び率を大きく付与させることにより  
下地からの振動等による細かいクラックに追従する事の出来る  
厚膜型のウレタン樹脂系塗り床材です。  
その為、耐衝撃性に優れ  
塗膜の割れなどを最小限に抑えます。

## 特長

- 1 塗膜に適度な柔軟性を持たせていますので、パリンと割れるようなことはありません。
- 2 高硬度で耐擦り傷性に優れていますので、重量物運搬床にも適しています。
- 3 臭気が少なく非常に取り扱い易くなっています。
- 4 ホルムアルデヒドの放散量が少なく  
日本塗料工業会の認定を受けています。  
FA放散等級 F☆☆☆☆(規制対象外)  
日塗工登録番号 D01016

## 性能

項目	結果	試験方法
硬度	80	JIS K 7215 ショアーD(23℃ 無希釈)
引張強さ(N/mm <sup>2</sup> )	24.0	JIS K 6251
引裂強さ(N/mm)	110	JIS K 6252
伸び率(%)	20	JIS K 6251
耐摩耗性(mg)	90	JIS A 5705 テーパー式 CS-17 9.8N、1000回
耐衝撃性(回)	30	1kg×1m 鋼球落下(コンクリート破壊)
<b>耐薬品性</b>		
かせいソーダ10%	○	JIS A 5705 6.11 7日間後
アンモニア水5%	○	〃
硫酸10%	○	〃
塩酸10%	△	〃
硝酸10%	△	〃
リン酸10%	○	〃
次亜塩素酸ソーダ2.5%	△	〃
エタノール	△	〃
キシレン	×	〃
水道水	○	〃

※塗膜性能の試験結果は実測値であり、保証値ではありません。

## 用途

- 1 工場、倉庫、配送センターなど  
耐久性、耐衝撃性が要求される所。
- 2 食品工場、薬品工場、電器部品工場など  
耐薬品性、耐汚染性が要求される所。



●工場



●倉庫



●配送センター



●食品工場



●薬品工場



●電器部品工場  
など



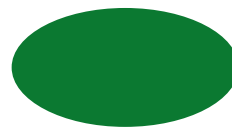
# YUKA CRETÉ RIZE

## C O L O R S

※色見本は印刷のため色調が異なります。  
※ユカクレート標準色見本帳をご参照下さい。



No.17グレー



No.18ターフグリーン



No.21エメラルドグリーン



No.24ライトグレー



No.27クリーム

(調色不可)

### ● 可使時間と硬化時間 (気温20℃以下の場合は硬化促進剤が必要です。)

気温(℃)	5	10	15	20	25	30
硬化促進剤添加量(%)	4	3	2	1(0)	—	—
可使時間(分)	20	20	15	20(30)	20	15
硬化時間(時間)	20	16	16	16(24)	16	10

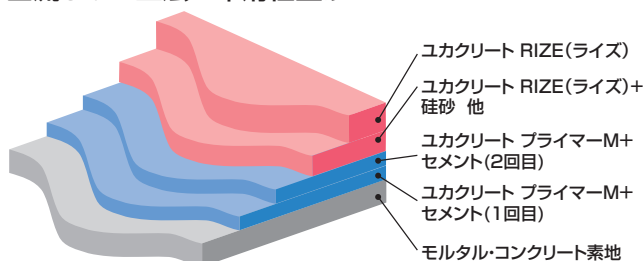
※机の脚のような接地面積が小さいものや重量物を設置する場合は、7日以上養生期間を設けることで極端な凹みを生じることがありません。  
(23℃無希釈で施工する場合)

### ● 容量と塗装面積

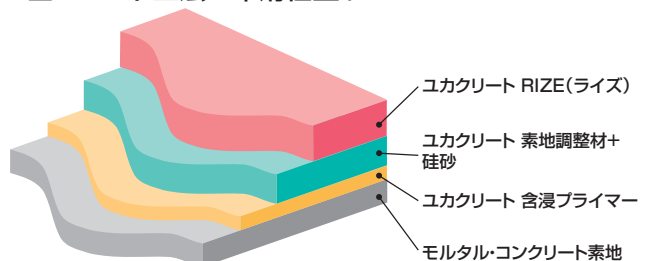
	種別	容量	塗装面積	ホルムアルデヒド放散等級 日塗工登録番号
ユカクレート プライマー-M	湿気硬化型ウレタン	16kg、4kg	53~80㎡/16kg(2回塗) (プライマー-Mのみ)	F☆☆☆☆ D01017
ユカクレート 含浸プライマー	溶剤型エポキシ	16kgセット(主剤8kg、硬化剤8kg) 4kgセット(主剤2kg、硬化剤2kg)	100~110㎡/16kg(1回塗)	F☆☆☆☆ D01158
ユカクレート 素地調整材	厚膜型エポキシ	15kgセット(主剤12.5kg、硬化剤2.5kg)	15㎡/15kg(1回塗)	F☆☆☆☆ D01198
ユカクレート RIZE(ライズ)	厚膜型ウレタン	20kgセット(主剤16kg、硬化剤4kg)	9~10㎡/20kg(1回塗) (流しのべ平滑仕上げの場合)	F☆☆☆☆ D01016
ユカクレート RIZE(ライズ) 硬化促進剤	特殊アミン	0.2kg、3.2kg、12.8kg		

※塗装面積は施工環境や現場の状況、塗装仕様等により増減する場合がありますのでご了承下さい。

### ■ 流しのべ工法 平滑仕上げ



### ■ ペースト工法 平滑仕上げ



- 屋外や陽の当たる室内などでのご使用には耐候性の良いユカクレートソフトトップコートAUや水系ソフトトップコートAUを上塗りすることをお勧めします。
- 低臭システムも組めますのでご相談下さい。

## 1. 流しのベ工法 平滑仕上げ 新設モルタル・コンクリート面の場合 標準膜厚 約1.5mm

工 程	品 名	内 容	塗付量(kg/㎡)	塗装間隔(23℃)
1	下 地	下地コンクリート及びモルタル面は金ゴテ仕上げで、十分強度があるものとします。通常、モルタルは打設後2週間以上、コンクリートは4週間以上の養生が必要です。		
2	下地処理	1. 含水調査はポリエチレンフィルムを床面に敷き、周囲をテープで密封して翌日(16時間後)開封する手順で行い、床面が黒っぽく濡れたりフィルムに結露していないこととします。また、含水率は、デジタル式水分計で5%以下を目安とします。 2. 必ず全面をサンドペーパーがけ(P24~P40)により目荒しを行い、汚染物やレイタンスなどを除去します。 3. 油脂、グリース、タールなどはシンナーか洗剤で除去します。 4. 必要に応じてクラック、穴などを補修します。		
3	下 塗 (2回)	ユカクリート プライマーM セメント	プライマーMとセメントを2:1(質量比)で混合し、コテ、ヘラでしごき塗ります。 0.10~0.15/回 0.05~0.075/回	4時間以上 2日以内
4	中 塗*	ユカクリート RIZE(ライズ) 8号珪砂 ユカクリート タレ防止剤	主剤と硬化剤を4:1(質量比)で混合します。さらに8号珪砂10%(質量)と、ユカクリートタレ防止剤3%を加えて混合し、コテでしごき塗ります。 0.30 0.03 0.01	16時間以上 3日以内
5	上 塗	ユカクリート RIZE(ライズ)	主剤と硬化剤を4:1(質量比)で混合し、コテで塗り広げます。 1.80	

\*中塗工程にユカクリート素地調整材を使用することも可能です。その際は下塗にユカクリート含浸プライマー(0.10~0.15kg/㎡)を使用し、素地調整材の塗付量は0.30kg/㎡で、RIZE(ライズ)と同様に8号珪砂0.03kg/㎡とタレ防止剤(ミルコンMS-2)0.01kg/㎡を混合して下さい。

## 2. ペースト工法 平滑仕上げ 新設モルタル・コンクリート面の場合 標準膜厚 約2.0mm

工 程	品 名	内 容	塗付量(kg/㎡)	塗装間隔(23℃)
1	下 地	下地コンクリート及びモルタル面は金ゴテ仕上げで、十分強度があるものとします。通常、モルタルは打設後2週間以上、コンクリートは4週間以上の養生が必要です。		
2	下地処理	1. 含水調査はポリエチレンフィルムを床面に敷き、周囲をテープで密封して翌日(16時間後)開封する手順で行い、床面が黒っぽく濡れたりフィルムに結露していないこととします。また、含水率は、デジタル式水分計で5%以下を目安とします。 2. 必ず全面をサンドペーパーがけ(P24~P40)により目荒しを行い、汚染物やレイタンスなどを除去します。 3. 油脂、グリース、タールなどはシンナーか洗剤で除去します。 4. 必要に応じてクラック、穴などを補修します。		
3	下 塗	ユカクリート 含浸プライマー	主剤と硬化剤を1:1(質量比)の割合でよく混合し、はけ、ローラーで均一に塗装します。 0.14~0.16	4時間以上 7日以内
4	ペースト	ユカクリート 素地調整材 6~8号珪砂	主剤と硬化剤を5:1(質量比)で混合します。さらに珪砂を30%(質量)加えて混合し、コテで塗り広げます。 1.00 0.30	16時間以上 7日以内
5	上 塗	ユカクリート RIZE(ライズ)	主剤と硬化剤を4:1(質量比)で混合し、コテで塗り広げます。 1.80	

### 施工上の注意 (よくお読み下さい。)

- ①下地が新設モルタル以外の場合はご相談下さい。
- ②水分計で測定した含水率は、素地の表面状態により少なからず影響を受けますので、目安として捉えて下さい。
- ③材料の混合は電動ミキサーで行って下さい。RIZE(ライズ)の主剤と硬化剤の混合は必ず低速(600rpm程度)の電動ミキサーで1分程度攪拌を行い、容器を移し替え、さらに15秒程度攪拌して下さい。
- ④同一床面では休まず一気に仕上げして下さい。休むと色の差や段差ができることがあります。また、塗り継ぎは、5分以内になるよう作業調整して下さい。
- ⑤目地や深い欠損などにRIZE(ライズ)を流し込むとその部分が盛り上がる場合があります。
- ⑥施工中は保護手袋を着用して下さい。塗料が皮膚に付着した場合は石鹸でよく洗って下さい。
- ⑦気温5℃以下や、相対湿度80%以上での施工は避けて下さい。
- ⑧気温が20℃以下の場合は、硬化促進剤を添加して下さい。添加方法は、主剤に硬化促進剤を混合攪拌した後に、硬化剤を混合して下さい。
- ⑨冬期は塗料の粘度が高くなりますので、材料を保温して下さい。また、粘度が高くて希釈が必要なときは、別表に従って、硬化促進剤と

希釈剤(ユカクリートシンナーXY、TXF仕様の場合はユカクリートシンナー U-TXF)を使って粘度調整して下さい。硬化促進剤は必ず添加し、その後、さらに必要な場合に規定の範囲内(硬化促進剤と合わせて4%まで)で希釈剤をお使い下さい。

気温	硬化促進剤添加量	希釈量
5~10℃	4%	0%
10~15℃	3%	0~1%
15~20℃	2%	0~2%
20~25℃	0~1%	0~3%

⑩硬化促進剤が必要な場合は、別途ご発注下さい。(容量:0.2kg、3.2kg、12.8kgがございます。)

### その他の注意

- ①施工に当たり現場固有の事象がある場合や塗料の性質・性能・使用方法等についてご質問があるときは、事前にお問い合わせ下さい。
- ②施工時の気温によって完全な鏡面仕上げにならない場合がありますのでご注意下さい。
- ③流しのベ工法、平滑仕上げの設計単価はお問い合わせ下さい。
- ④文部科学省6物質、厚生労働省13物質の基準に適合する仕様もございます。その場合のプライマーは「プライマーM低臭型」となります。詳細についてはお問い合わせ下さい。